

国立病院機構岩国医療センター 循環器内科

循環器内科UPDATE vol.2-3

〒740-8510 岩国市愛宕町1-1-1 TEL 0827-34-1000 (代) FAX 0827-35-5600

循環器内科update

Vol.2-2 (2022仲秋)

岩国医療センター循環器内科の様々な'UPDATE'をお届けします。(責任編集:片山)

カテ室スタッフupdate

今回は、カテ室(血管造影室)スタッフの**臨床工学技士(ME)**と**インターベンションエキスパートナース(INE)**についてのupdateです。

臨床工学技士(ME) update

突然ですが、**臨床工学技士**をご存じでしょうか？
実は岩国医療センターの「**緑の下の力持ち**」なんです。
臨床工学技士の制度が出来たのは**1987年**と若い職種であることに加え、医療現場を裏方として支えている職種なので見かける事がありません。

今回は「**総合病院で働く臨床工学技士**」についてご紹介いたします。現在、当院では常勤6名(男性4名、女性2名)と非常勤1名の臨床工学技士が働いています。普段は「**MEさん**」と呼ばれており、大きく分けて臨床支援業務と医療機器保守点検業務を行っています。

臨床支援業務とは、手術室・心臓カテーテル室・集中治療室・病棟において医療機器を操作することで医師・看護師の支援を行う業務です。**手術室**では人工心肺、自己血回収装置、下肢静脈瘤血管内高周波焼灼術、手術支援ロボット(DaVinci)や神経モニタリングなどを行っています。

循環器内科関連では、**心臓カテーテル室**で補助循環装置(IABP、PCPS)、アブレーションの3D解析装置や心内電位記録装置の操作を、**集中治療室**で緊急血液浄化(HD、HDF、CHDF、PEなど)やIABP、PCPSの管理などを行っています。PCPSの別名は**ECMO**といい、新型コロナ肺炎重症例で使用されてニュースにもなりましたね。**病棟**では、胸腹水ろ過濃縮再静注法(CART)や潰瘍性大腸炎に対する顆粒球吸着療法(GCAP)を行ったり、呼吸サポートチーム(RST)の一員としてチームラウンドに参加しています。

医療機器保守管理業務では、院内の人工呼吸器、輸液・シリンジポンプなど千台以上にも及ぶ医療機器を一元管理、保守点検、修理を行い、安全で安心できる医療提供に心掛けております。

当院は地域唯一の三次救急および高度医療を提供する病院であり、臨床工学技士も365日24時間オンコール体制で、急性期の症例に対して緊急対応しております。院内の「**緑の下の力持ち**」として、支援業務を通じて、常に「**安全で快適な医療**」が提供できるように心がけております。
(岩国医療センター 臨床工学技士 柿本恵里)



インターベンションエキスパートナース

INE update

外来看護師の瀬川幸子です。現在、私は血管造影室で勤務しています。今回、私はキャリアアップのために

INEという資格を取得しました。INEとは「**インターベンションエキスパートナース**」のことで、INE制度規約第2条で「IVR学会ならびにCVIT合同認定

インターベンションエキスパートナースは**医師との協働のもとにインターベンション治療業務に従事**するものをいう（抜粋）」とされています。この資格を取得するには、年1回の講習会を受講する必要がありますが、いま現在、コロナ禍ということもあり、**web開催**（オンデマンド配信）での受講でした。例年ならば京都開催ですが、今回はオンラインでの受講でしたので、交通のことを考えるととても助かりました。一定期間内ならば「24Hいつでも」「好きな時間帯に」受講できるので最高の条件でした。受験資格としては、看護師としての**実務経験満3年**以上、CVIT専門医下での経験100症例、その他IVR専門医下での経験を100症例の証明が必要でした。私は**積極的に検査や治療に携わり**、約3年間でその症例数を達成できました。当院にてCVIT専門医は循環器内科片山先生、IVR専門医は放射線科矢吹先生に証明書の記入をして頂きました。二人の先生方に証明書を頂き、試験へのプレッシャーは大きかったです。

私には子供が4人（4～9才全て女の子）います。常勤で勤務しながら、**育児と仕事の両立**の中、自分の時間を何とか作り試験勉強に励みました。早朝や深夜、休日は主人に子供を見てもらい自分の勉強時間を作りました。**主人にはとても感謝しています**。INE試験については、過去問がHP上にありますが、その答えはどこにもなく、ほぼ自己学習でした。答えを調べても果たしてそれが正しいのか？その繰り返しで、IVRについての本を何冊も購入しました。その範囲は全身の血管の知識に加え、放射線被曝や造影剤についてなど、試験範囲が幅広くとてもレベルが高かったです。



そして、令和4年3月19日、東京と大阪の2会場にて試験が開催されました。最近ではコロナの関係で旅行していなかったため、久々に旅行気分で大阪の試験会場に向かいました。行きの新幹線の中では緊張感を持ちながら、それでも**なぜか気分はワクワク**してとても楽しかったです。それなりに勉強していたので、自信を持って**平常心で受験**できて、見事合格しました。

これから、INEの普及、また**血管造影室の看護の質の向上**に努めたいと思います。INEがいることで、患者様に安心して、**安全・安楽**にカテーテル治療を受けていただけるよう看護を提供させて頂きたいと思います。これからも、宜しくお願い致します。

（岩国医療センター 外来看護師・血管造影室勤務 瀬川幸子）